

令和5年度 江別市立江陽中学校 自己評価書

令和6年 2月14日
江別市立江陽中学校

1. 本年度の重点目標

「先を見据え 主体的に挑戦できる生徒の育成」～歩みを止めず 未来を輝かせるために～

2. 自己評価結果に対する学校関係者評価

A:よい(充分達成された) B:概ねよい(概ね達成された) C:ややよくない(やや不十分) D:よくない(不十分である)

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	① 教育目標や年度の重点を意識し、共通理解に基づき、協働性をもって取り組んでいるか。	A	教育目標や重点の共通理解を十分に図り、協働体制を重視して取り組んできた。重点目標を「先を見据え、主体的に挑戦できる生徒の育成」～歩みを止めず 未来を輝かせる～とし、本校の課題である「学力の向上」を図るため、自己管理能力を高めることで長期目標設定を行い、自己課題解決に向け主体的に取り組む、自己効力感や自尊感情を高める取り組みを進めてきた。今年度の反省を生かし、P-D-C-Aサイクルを回して、各教科や道徳教育、特別活動をはじめ、全ての教育活動で自尊感情を高めるために、教職員集団の情報共有と協働体制の確立を図る。今後も、生徒、保護者、関係者アンケートを通して実態を把握し、具体策を計画的に一層充実させていく。	A A6	A A6
	② かかわりと励ましを基本とし生徒の良さが生かされる教育活動に取り組んでいるか。	A	授業や日常生活を中心に、コミュニケーションに重点を置きながら委員会活動や部活動等、あらゆる活動を通して生徒との積極的な関わりや、個々の生徒についての情報の共有、教育相談等の体制を整えてきた。他者への思いやりや物事に一生懸命取り組むという本校生徒の良さを、恵明園や江別太市街地のボランティア活動等において発揮する場面を設定することができた。今後も生徒をしっかりと把握・理解し、生徒たちに自己有用感を育んでいけるよう、行事や授業、教育相談等の一層の充実を図っていく。	A A6	A A6
	③ 保護者、地域との連携を深め信頼される学校づくりに取り組んでいるか。	A	今年度からPTA活動を見直し、各家庭で1活動の参加体制とした。交通安全見守り活動、花壇整備活動、各種研究大会の参加等の活動を通して、家庭・地域との連携強化に努めることができた。またおやじの会の活動では、スポーツ交流を中心に小学校やOB会とも連携をとることができた。今後も学校だよりの全地域配布・HPの公開等で情報発信に努めると共に、保護者アンケート等を取り入れた学校評価等、地域・社会に開かれた学校を目指していく。また、マチコミメール等を活用して、情報発信の強化を行っていく。	A A6	A A6
	④ 生徒に向き合う時間の確保と職員のワークライフバランスに配慮した働き方の見直しを進めているか。	B	教職員が生徒と直接関わり向き合う時間を確保するために、「働き方改革」のコアチームを中心に、業務の見直しを図るとともに、昨年度に引き続きICTを活用した業務効率化を図ってきた。部活動の活動日の見直し、配布文章のマチコミ活用等、小さな取り組みを積み重ねた結果、教職員の職務に対する効率性の向上が見られ、月45時間以上の超過勤務となっている職員は減ってきた。しかし超過勤務の劇的な解消には至っておらず、働き方改革が進んだと実感できない職員も多くみられる。今後部活動の地域移行も含め引き続き業務の精選を進めるため、地域や家庭への協力をお願いしていくとともに、教職員が様々な状況の変化に対応できるような情報を共有し、意識改革に努めていく。	A A5B1	A A6
教育課程・学習指導	① 確かな学力を育む学習活動の工夫は推進されているか。	B	研究主題「自己肯定感を持ち、確かな学びを獲得していく生徒の育成」とし、グループによる話し合い活動や学び合いを重視した授業や、学習者用端末や習熟度別学習の実践を通して、生徒が自らの課題の解決に迫る力の育成に取り組んで2年目となる。ICTを活用しながら話し合いを進め、情報を収集し解決に向かう対話的で協働的な学びのスタイルが定着してきた。必要な指導方法の一層の工夫を図る他、TT授業や習熟度別学習に加え放課後学習等の積み上げで引き続き学力向上に努めていく。また標準学力テストや全国学力・学習状況調査の結果分析、さらに本校独自の生徒アンケート等による生徒の実態把握、課題の共有化を図り、授業改善を進めていく。	A A5B1	A A6
	② 思いやりや感謝の心を持ち、共に高め合う学年・学級集団の育成は図られているか。	A	道徳や特別活動、総合的な学習の時間等では、自分自身を見つめ、他人、集団や社会、自然等との関わりを考えさせてきた。その中で、周囲を思いやり、支え合い、認め合って活動する機会を意図的に作ることも、体験的な活動の充実を図ることにより、自己肯定感や有用感を醸成し、思いやりや感謝の心などを大切にする「豊かな心」を育ててきた。また、生徒会が主体となって取り組む「いじめ撲滅集会」をはじめとした活動を支え、意識の高揚を図った。今後も、学校活動全体の中で「思いやりや感謝の気持ち」を意識させ、道徳の実践力の向上を図り落ち着いた校内生活を送らせるとともに、生徒会や学級活動、行事、集会を通して共に高め合う集団づくりを目指していく。	A A5B1	A A6
	③ 家庭学習の習慣化を図る、学力向上プロジェクトの推進は充実しているか。	B	生徒の基礎・基本の定着を図るためのTT指導の工夫、学習支援ボランティアによる数学の放課後学習や長期休業中の補充学習などを実施した。また、自己管理能力を高めるためのフォーサイト手帳を導入し、帰りの会を5分延長して毎日の計画を記入する取り組みを行った。自己管理能力を高めるための取り組みとしては成果がみられたものの、学習習慣については定着には遠い状況である。手帳のより良い活用方法を工夫するとともに、AIドリルを活用した家庭学習の充実が図れるよう、学力向上プロジェクトを進めていく。今後も、家庭、地域の協力を得ながら、生徒の学習意欲の向上を図り、学習習慣の定着と学力の向上を一層図っていく。	A A5B1	A A6
	④ 生徒が生き生きと活動する学校行事等の企画や運営が適切に行われているか。	A	コロナウイルス感染症が5類へと移行し活動制限がなくなった1年間であった。改めて実施内容を整理し、生徒会が中心となり、創意工夫をこらした活動を展開することができた。体育祭では複数の団体種目の実施を行った他、学習発表会では合唱コンクールとクラス動画の撮影を行い、仲間と協力しながら、作品作りを通して団結力を高めることができた。旅行的行事については、6月に1年生校外学習、5月に2年生宿泊学習、4月に3年生修学旅行を予定通り実施し、学級や学年の生徒同士のつながりを深めることができた。今後も達成感・成就感の味わえる行事等の充実を計画的に図っていく。	A A6	A A6
	⑤ 生徒一人一人の勤労観・職業観を育て、主体的に進路選択する指導が適切に行われているか。	A	1年生の総合的な学習の時間に「トウキジ販売」を勤労体験の機会として設定した。2年生では、職場体験を実施し、2日間事業所で活動させていた。3年生は上級学校訪問として酪農学園大学、北翔大学を訪問し、大学の講義を体験し、将来の学びについて考える機会を得た。各学年とも学びをスライドにまとめ、学習発表会で代表者によるプレゼンテーションを行った。様々な職業を知ること、働くことの意義、自分の将来の夢などを踏まえた進路設計と実現のために必要な努力や課題について、一人一人の生徒が自分で考え努力できるような総合的な学習や進路指導を、今年度についても進めていく。	A A6	A A6

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生徒指導	① 挨拶、きまりや集団のルールを守るなど基本的な行動ができる集団づくりに努めているか。	A	校内生活指導は「挨拶」を中心にコミュニケーションを大切にしながら指導を進め、成果を挙げているため、さらに、安心した学校生活を送らせるために、「生徒の自己肯定感」を一層高めるさせるとともに、「日常的な生徒の様子」も把握し、指導部・学年部を核として、協働体制を確かなものとし、併せて、保護者との連携を図る取組を着実に積み上げていく。また、生徒の自主的な活動を促す指導・支援も継続して行う。	A A6	A A6
	② いじめ・不登校・問題行動への対応は、共通理解のもと、保護者と連携し適切に行われているか。	A	「江陽中学校いじめ防止基本方針」を改訂し、職員研修を行った。未然防止・早期発見・解決に向けた意識の高揚を図り、全職員での情報共有の必要性や事例の確認を行った。また、不登校生徒への登校支援として、別室学習のあり方を整理し受け入れ態勢を整えた。他、生徒会「いじめ撲滅集会」や「中学生サミット」等、生徒自らが意識を高める取組の継続を進めた。不登校に関しては依然見られるが、今後もSCやSSW、スポットケア等の関係機関との連携を十分に図り、個々に応じた相談体制を整えるとともに、保護者との双方向での連携を大切に、適切な対応に努める。	A A6	A A6
	③ 健康や安全にかかわる指導は、適切に行われているか。	A	健康上の配慮を要する生徒の情報共有を欠かさず適切に行ってきた。また、次年度も外部機関と連携し「交通安全教室」「インターネットマナー講座」「避難訓練」「非行防止・薬物乱用防止教室」「情報モラル教室」「食育授業」「救急救命講習」などを実施し、健康・安全指導を計画的に進めていく。今後もさらに地域自治会や外部機関等を活用し、継続的に効果的な指導体制を整えていく。	A A6	A A6
	④ 生徒会活動や学級活動は、生徒の自主性を育む活動となっているか。	A	各委員会活動、集会活動等、生徒会や生徒自身が主体的に取り組めるように指導を進めてきた。行事に向けての学級活動や生徒会活動において、委員会や生徒会が中心となって活動し、生徒たちの達成感や充実感が高まりがみられた。更に自己肯定感や有用感を醸成する行事・活動となるように工夫し、自主性の育成に力を入れて進めていく。	A A6	A A6
小中一貫	① 9年間の系統性・連続性を強化した小中一貫教育が行われているか。	A	今年度から小中一貫教育の完全実施となり1年目となる。「小中学生まるわかりハンドブック」を作成し、書式を統一して見やすいものとした。教科部会、課題部会を実施し、小中互いの課題や連携強化について話し合い、系統性・連続性の強化を図ることができた。日常から連絡を取りやすい環境づくりに努め、より効果的な活動となるよう進めていく。	A A6	A A6
	② 小・中学校教職員の連携協力による一貫教育が推進されているか。	A	年2度の全体会議を持ち、実施計画に基づいて役割分担を明確にし、めざす子ども像を共有して実現に向け取り組んだ。全国体力運動能力テスト、部活動体験、長期休業中の中学生による学習サポート等、様々な活動を連携協力により進めることができた。次年度に向けて、小・中両教員の意識改革を目指し、同一歩調でより効果的な活動が進められるよう合同会議の充実を図り、連携を強化していく。	A A6	A A6
	③ 小中一貫教育の取組を保護者・地域等に広く周知するための工夫が行われているか。	A	学校だよりやホームページを通して小中一貫教育の取組を保護者、地域に広く周知することができた。地域に見える活動としてクリーン作戦を実施し、町内会とPTAの協力を得ながら実施した。次年度からは、PTA1人1役の活動に取り入れ、保護者も一緒に取り組んでいたべく予定である。また、小学校2校の保健だよりを保健室横に掲示した他、廊下掲示板のフォトギャラリーでも活動を紹介し、来校した方の目に届くよう工夫を凝らした。次年度もタイムリーな発信を心がけ、引き続き町内会やPTAにご協力いただけるよう地域に見える活動としていく。	A A6	A A6
その他	① 「花と緑の江陽」の取組は適切に行われているか。	A	花壇ボランティアやPTA花壇整備活動を中心に「花と緑の江陽」の取組を継続し、充実した活動を行うことができた。また、特別支援学級の畑の整備も継続され、一層の充実を図るとともに、校内にも「花のある風景」を意識した取組が推進された。今後も、しっかりと継続させていくための活動を工夫し、PTAや地域の方々の協力を得ながら、ともに創り上げる花壇を目指し、環境整備を進めていく。	A A6	A A6
	② 心を育てるボランティア活動の取組は適切に行われているか。	A	小中一貫教育として、7月に恵明園の方のご協力をいただき窓ふきボランティアなど、生徒のボランティア活動を実施した。江別小学校、豊幌小学校の児童と共同で活動に取り組む予定であったが、雨で地域のごみ拾い活動が中止となった。生徒会活動の充実を図り、活動の見直しや新たな活動の検討をし、地域や校区の小学校と連携して取組を進めていく。	A A6	A A6
	③ 合唱活動等を通じた、感性豊かな環境作りの推進は適切に行われているか。	A	学習発表会の合唱発表、儀式や集会での校歌や全校合唱の取組など、本校の合唱活動は生徒の誇り、伝統となっている。学習発表会ではコンクール形式で実施し、学級の団結を高めるとともに、先輩が一生懸命に歌う姿を後輩に見せることで、本校の伝統である合唱の灯を受け継ぐことができた。今後も全教職員の共通理解と関わりをもち、地域との連携を絶やさずに、地域の誇りとなるとともに地域の中で育つ生徒づくりを目指していく。	A A6	A A6
	④ 校内組織の活用や交流、実践など特別支援の推進は適切に行われているか。	A	特別支援教育コーディネーターや校内特別支援教育委員会を中心に、担任や学年と連携し、生徒一人一人に寄り添い、情報共有と共通理解を図りながら取組を進めてきた。「特別支援学級」では、より充実した指導を展開している。また、特別支援教育に関する研修にも取り組み、特別な配慮や合理的配慮、個別の支援を要する生徒の指導・支援に関し、会議毎に生徒指導交流を行い、共通理解と情報の共有を深め、特別支援教育のさらなる充実を図っていく。	A A6	A A6

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- ・江陽中の生徒は校内で会うといつも元気よく挨拶してくれます。学校行事や学習にも積極的に取り組んでいる姿がみられます。これからも生徒ひとりひとりが自己肯定感を持ち、何事にも意欲的に取り組み、充実した中学校生活を送れるようご指導をお願いします。また、先生方の「働き方改革」についてですが、超過勤務についてはまだ解消に至っていないとの事、先生方への負担を少なくするためにも、地域や家庭の協力を得ながら、それぞれが意識改革に努めていくことが必要だと思います。
- ・先日の授業参観でコロナの行動制限で活気の欠ける校舎に、生徒の明るい会話が帰ってきたことを実感しました。評価項目の改善案が順調に進むことを期待します。
- ・小中一貫教育で、9年間を通じた取組として「ハンドブック」を作成されたことや、中学生が江別市内の大学を訪問する取り組みは素晴らしいことです。
- ・いつも熱心な教育活動をしていただきありがとうございます。今年度を通して授業を見学させていただいた時に印象に残ったのは、生徒が楽しそうに授業を受けている姿でした。生徒が自主的に学習を進め、自分で考えて行動する力をつけているように感じました。
- ・部活動や生徒指導の際には、生徒1人1人に合わせて、現在だけではなくこれから先の未来のことを見通した教育を行って下さっていると感ずることが多くありました。
- ・本年度の重点目標である「先を見据え主体的に挑戦できる生徒の育成」を達成できている場面がたくさんあったように感じました。
- ・宿題、課題を多くすることより、学ぶ方法を具体的に指導してほしい。保護者とのコミュニケーション、同じ方向への視線が家庭学習のかなめだと感じます。
- ・委員会や生徒会も楽しくやっているようです。楽しさが一番。
- ・9年間の系統性・連続性を強化した小中一貫教育について、小学校の先生方も先が見えることにより、より指導しやすくなったと聞いています。良いと思います。小学校でも中学校の教科書もそろえてあり、先生方も問題に取り組んでいます。
- ・合唱活動について、他校に勝る良い声で自慢できます。